

新たなステージに入り、 成長を意識した財務マネジメントで 中長期での企業価値向上を目指す



2023年6月期は増収減益も、 継続して成長投資を続ける

2023年6月期においては、原材料費の高騰などの影響を受けた消費財メーカー等の需要減などを受け、国内事業の売上は計画どおりとはなりませんでしたが、グループ全体としては海外事業等の売上が伸長し増収となりました。一方で、各事業の体制強化に伴う人件費・経費が増加したことにより、営業利益としては減益となりましたが、海外拠点体制の再構築に伴う税金費用の減少もあり親会社株主利益は増益にて着地しました。またこうした中でも、今後の成長のための投資を継続して行っており、投資計画については順調に進んでいると評価しております。

また2023年8月には第14次中期経営計画 (2024年6月期~2026年6月期)を発表いた しましたが、お客さまへ新たな価値提供を行う べくサンプルサイズの拡大等を予定している SCIについて、新旧SCIの並行稼働に伴うコスト負担の重複が生じ、2024年6月期と2025年 6月期においては利益面への影響も見込まれますが、2026年6月期にはこうした並行稼働に伴うコストの問題も解消されて、大きく利益成長できると考えています。

第14次中期経営計画期間の 配当は累進的とし、 資本効率を意識した成長を目指す

株主の皆さまに対する利益還元については、 以前から経営上の最重要課題の一つと捉えて おり、グループ経営の成果であります連結業績 をベースに、配当と成長投資のバランスを考慮 した利益配分を行うことを基本的な考え方とし ております。

前回の中期経営計画では配当性向40%を目標に掲げてきましたが、2023年6月期の配当は昨年の38円から42円への増配(配当性向46%)とし、コンスタントに40%を超えられる水準を達成できました。財務体質も強化され、成長投資にも十分な資金を充てられると認識していることから、さらに株主の皆さまへの利益還元を強化すべく、2023年8月には利益配分に関する基本方針を変更いたしました。第14次中期経営計画期間の配当は累進的とし、最終年度の2026年6月期の連結配当性向は50%を目指し、ROE(自己資本利益率)は12%を目標とすることといたしました。

ドコモとの提携を含む成長戦略について、投資家とのエンゲージメントを強化 し訴求していく

2023年9月にはインテージグループの中長期的な成長戦略の一環として、ドコモとの資本業務提携を公表しました。現在、グループ内に複数のプロジェクトチームを立ち上げ、それぞれの事業計画について真摯な検討を重ねているところです。

新しい中期経営計画の発表と同時に、インテージグループの中長期的にありたい姿や実現に向けての方向性を示した「2030年に向けて」を公表しましたが、今回の資本業務提携により、そこに至るまでのスピードや蓋然性が高まるものとも考えております。そうした点をご理解いただけるよう、株主や投資家の皆さまには、今後決定していく新たな事業計画や挑戦していく方向性についてはタイムリーにご説明するなど、エンゲージメント活動を一層強化していこうと考えております。

健全な財務基盤を維持しながら、 新たな成長ステージに挑戦する

当社の事業特性(リサーチ事業の中立性・独立性維持の観点)からも、従来から健全な財務基盤の維持は重要だと考えており、R&I(株式会社格付投資情報センター)で格付を取得して外部からの客観的な視点も取り入れながら、健全な財務基盤を維持してきました。

現状の資本政策は、こうした健全な財務基盤をベースに資本効率を重視(ROE 12%)しながら、最終利益を成長投資と株主還元に振り向けていくという考え方です。

特に中長期的な成長の実現に向けて、現在の事業基盤を維持強化するための基盤投資やさらなる成長に向けたM&Aやアライアンスなど共創による価値増大を図るための戦略投資を継続し、こうした成長投資の実現により最大の目標である企業価値の向上に挑戦していこうと考えております。

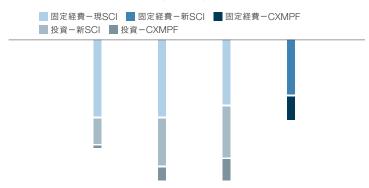
今回のドコモとの資本業務提携を通じて、私たちインテージグループも新しいステージに入っていくことになると思います。引き続き、企業価値を高めるべく努力してまいりますので、ステークホルダーの皆さまにはぜひ大きな期待をもって応援していただけますよう、よろしくお願いいたします。

10年間の業績推移



(注)2020年6月期は、決算期変更による15カ月の変則決算となっております

投資および経費の変動イメージ



2023年8月9日「2023年6月期決算の状況および第14次中期経営計画」より抜粋

第14次中期経営計画期間における 利益配分に関する基本方針

2023年6月期 2024年6月期 2025年6月期 2026年6月期

最終年度 (2026年6月期) 目標

配当性向50% ROE(自己資本利益率)12% 累進的な配当の実施

連結配当性向/1株当たり配当金



(注)2020年6月期は決算期変更による15カ月の変則決算となっております